

## 学習内容報告書

学校名	玉野市立築港小学校
授業者	小川敏之

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

船をつくる仕事～玉野から世界の海へ～

#### 1-2. 学年

3年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科・総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

玉野市には、三井E&Sホールディングス・三菱重工という大企業があり、市の基幹産業となっている。副読本「わたしたちの玉野」において、「市の人たちの仕事と暮らし～工場の仕事」のなかで「船をつくるしごと」の学習をするが、そこで取り上げられているのが三井E&Sホールディングス・三菱重工である。

1917年（大正6年）に、瀬戸内海という海に面した玉野市の地の利を生かし、大規模な造船所が作られたことを中心に、船の作り方や働く人々の様子を学ぶ。そして、瀬戸内海という海があり、造船所が作られ、そこで造られた船が世界の海で海運業を支えていることを知り、海のあるわたしたちの町玉野を愛する態度を育てる。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

三井E&Sホールディングス・三菱重工について調べたり見学したりすることで、わたしたちの住む玉野市が瀬戸内海という海と密接に関わっていることに気づくことができるようにする。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

瀬戸内海という海がわたしたちの住む町玉野にあることで、市の基幹産業である三井E&Sホールディングス・三菱重工が作られ発展してきたことを知り、造られた船が世界の海で海運業を支えていることに誇りを持ち、玉野を愛する態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全10時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造船所の前を通ったことがある。</li> <li>・広くて大きい。</li> <li>・どのようにして船を造っているのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っていることを話し合い、副読本「わたしたちの玉野」で、工場の様子を調べるようにする。</li> <li>☆三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工の規模について知ることができる。</li> </ul>
2	<p>○三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工で働く人の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人が働いている。</li> <li>・玉野市内はもちろん、市外からも働きにきている。</li> <li>・わたしの父も働いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本「わたしたちの玉野」で、市内外からたくさんの方が働きに来ていることを調べるようにする。</li> <li>☆玉野市内、玉野市外からたくさんの方が働きにきていること、身近な人も働いていることを理解することができる。</li> </ul>
3	<p>○船は、どのようにして造られるのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計から引き渡し式まで、多くの工程がある。</li> <li>・船を造るには、いろいろな工夫や努力がある。</li> <li>・できた船は、国内のみならず外国へも送られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本「わたしたちの玉野」で、船が造られる工程について調べるようにする。</li> <li>☆船が造られる工程を知り、造られた船は国内外におくられていることを知ることができる。</li> </ul>
4 5	<p>○なぜ、玉野市に三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工が造られたのかを調べるとともに、三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工の人から、なぜ玉野市に三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工が造られたのかについて話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸内海という穏やかな海があったから。</li> <li>・造船所を造りやすい広い土地があったから。</li> <li>・気候が温暖で造船に適していた。</li> <li>・材料を運んでくる神戸港から近かったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料「玉野市史」「写真集玉野」等の資料を利用し、三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工が造られた経緯について調べるようにする。</li> <li>・講師として、三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工の方にゲストティーチャーに来ていただく。</li> <li>☆資料を活用し、進んで調べることができる。</li> <li>☆三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工の人の話を聞いて、調べたことと比較しながら、玉野市に造船所ができた経緯について知ることができる。</li> </ul>
6 7	<p>○三井 E&amp;S ホールディングス・三菱重工に見学に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海のすぐそばに工場がある。</li> <li>・工場はとても大きくて広い。</li> <li>・いろいろな工場がある。</li> <li>・たくさんの方が働いている。</li> <li>・ここで造られた船が外国にも送られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に造船所を見学することで、その規模、働く人の様子などについて実感することができるようにする。</li> <li>☆船を造る工場・はたらく人の様子に興味・関心をもって見学することができる。</li> </ul>

<工場見学の様子>



○新聞にまとめ発表会をする。

<発表会の様子>



- ・これまでの学習のまとめとして、個人で新聞を作り、発表会で伝え合うようにする。
- ☆瀬戸内海があつての玉野市であり、玉野市を誇りに思うことができる。

8  
9  
10

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 10 時間中の 4・5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- ・なぜ玉野市に三井E&Sホールディングス・三菱重工ができたかを調べよう。
- ・三井E&Sホールディングス・三菱重工の人の話を聞こう。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海のすぐそば。</li></ul>	<p>○三井E&amp;Sホールディングス・三菱重工がどんな場所にあるかを想起することで、本時のめあてをもちやすくする。</p>
<p>2 めあてを立てて予想する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>・なぜ玉野市に三井E&amp;Sホールディングス・三菱重工が作られたか調べよう。</li><li>・三井E&amp;Sホールディングス・三菱重工の人の話を聞こう。</li></ul></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・海があるから。</li></ul>	<p>○岡山市や倉敷市等の大きな町ではなく、なぜ玉野市に大きな造船所が作られたかという投げかけをし予想をするようにする。</p>
<p>3 資料を読んで調べる。</p>	<p>○図書館資料「玉野市史」「写真集玉野」等を活用し調べるようにする。</p>
<p>4 調べて分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・穏やかな瀬戸内海に面している。</li><li>・海上交通に便利な位置にあること。</li></ul>	<p>○瀬戸内海に面している等、地の利を生かして作られたことを押さえるようにする。</p>
<p>5 三井E&amp;Sホールディングス・三菱重工の人の話を聞く。</p>	<p>○ゲストティーチャーの話を聞くことで、地の利を生かして造船所が作られたこと以外の理由（温暖な気候）や歴史について知ることができるようにする。</p> <p>☆なぜ玉野市に三井E&amp;Sホールディングス・三菱重工が作られたか、調べたことや聞いた話から理解することができる。(ノート)</p>
<p>6 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>玉野市に三井E&amp;Sホールディングス・三菱重工が作られたのは、瀬戸内海に面していて、海上交通の便がよく、船を作るのに気候が適していたから。</p></div>	<p>○自分たちの言葉でまとめることができるようにする。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

社会科の授業とタイアップし、副読本からの発展学習として取り組むことができたので、非常に取り組みやすかった。子ども達が、社会科の授業で学習したことについて、三井E&Sホールディングス・三菱重工の方から詳しく話を聞くことで「見学に是非行きたい」という気持ちになり、そして実際に見学に行き、工場のスケールや作っている船等のすごさを実感することができた。そこから、自分たちの住む玉野市にこんなすごい工場があることに驚き、誇りに思う心情をしっかりと育てることができた。

### 4. 今後の課題

今年度も海洋教育ということで、見学の往復に必要な交通費を出していただけた。しかし、今後もできれば続けては行きたいが、海洋教育の指定を外れるので、その場合交通費をどうするかという課題がある。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし。